

IOSCO総会／AMCC年次会合 の模様について



iosco

2025年6月
日本証券業協会

IOSCO総会／AMCC年次会合の概要

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 1) 開催日 | 2025年5月12日（月）～14日（水） |
| 2) 開催地 | カタール（ドーハ） |
| 3) 参加者 | 約500名、うち、AMCC年次会合は、約40機関・90名程度が参加 |

4) 今回のポイント

- IOSCO総会及びAMCC年次会合(※)が5月12日～14日に対面にて開催された。
(※) 本協会は、IOSCOの協力会員として、自主規制機関等が参加している協力会員諮問委員会（AMCC）に参画。

【IOSCO及びAMCCの主な取組み状況等】

- IOSCOとの間では、同機関の作業計画における重点分野について、以下を含む様々な取組みの進捗に関する報告・説明・意見交換が行われた。また、AMCCでは、IOSCOの取組みとより整合的な議論を行う観点からAMCCの在り方と下部会議の再整理を進めながら、引き続き、IOSCOにおける将来的な主要リスクの分析等の取組みに対してインプットを提供することなどについて報告・説明・意見交換が行われた。
 - ◆ **投資家保護**：技術の進展によって生じたオンライン上の投資家保護に係る課題に対処する観点から、2024年11月に実施した「フィンフルエンサー」、「デジタル・エンゲージメント・プラクティス」および「模倣取引」のグッドプラクティス案に係る市中協議の結果を踏まえて最終化（総会後にそれぞれ最終報告書を公表）。また、オンライン詐欺への対処について、デジタルプラットフォーム提供者との対話を強化（総会後に詐欺防止等に係る協力要請の声明を公表）。
 - ◆ **サステナビリティ**：トランジションプラン及びグリーンファイナンスへの対応について本格的な検討を開始。後者についてはサステナブルボンド市場の現状を取りまとめた報告書を作成（総会後に最終報告書を公表）。
 - ◆ **フィンテック**：金融業界のAIの利用については、2025年3月に実施した市中協議（AIの利用例・リスク・課題等の情報募集）の結果を踏まえ政策提言の可否を検討。金融資産のトークン化については、市場動向のモニタリングを2025年11月まで実施。
 - ◆ **金融の強靱性強化**：ノンバンク金融仲介（NBFI）に係る検討を進めるほか、集団投資スキームの流動性管理等に係る市中協議の結果を取りまとめ（総会後に最終報告書を公表）。

IOSCO総会／AMCC年次会合の概要

4) 今回のポイント（続き）

【来年の総会等の開催予定】

- 次回のIOSCO総会／AMCC年次会合は2026年5月にエジプト（シャルム・エル・シェイク）で開催予定。
また、次回のAMCC中間会合は2025年10月8日～10日に英国（ロンドン）で開催予定。

AMCC年次会合の様様



IOSCO総会の様様



IOSCO総会／AMCC年次会合：プログラム



5月12日（月） AMCC年次会合

9:00	AMCC議長、IOSCO事務局長等による開会の辞
9:30	将来的な主要リスク検討委（CER）の報告
10:15	AMCCの戦略的重点項目および下部会議体
10:45	市場の分断
11:25	サステナブル・ファイナンス
11:50	AMCCインデックス・プロバイダーWGの報告
13:45	ラウンドテーブル①AI
14:45	ラウンドテーブル②トークン化資産
16:15	ラウンドテーブル③プリヘッジ
17:15	閉会

5月13日（火） 規制ワークショップ（IOSCO主催）

9:00	ワークショップ①：サステナビリティ関連開示基準の採択等
11:30	ワークショップ②：暗号資産の枠組みの実施
14:30	ワークショップ③：プライベート・ファイナンスに係る課題

5月14日（水） IOSCO総会

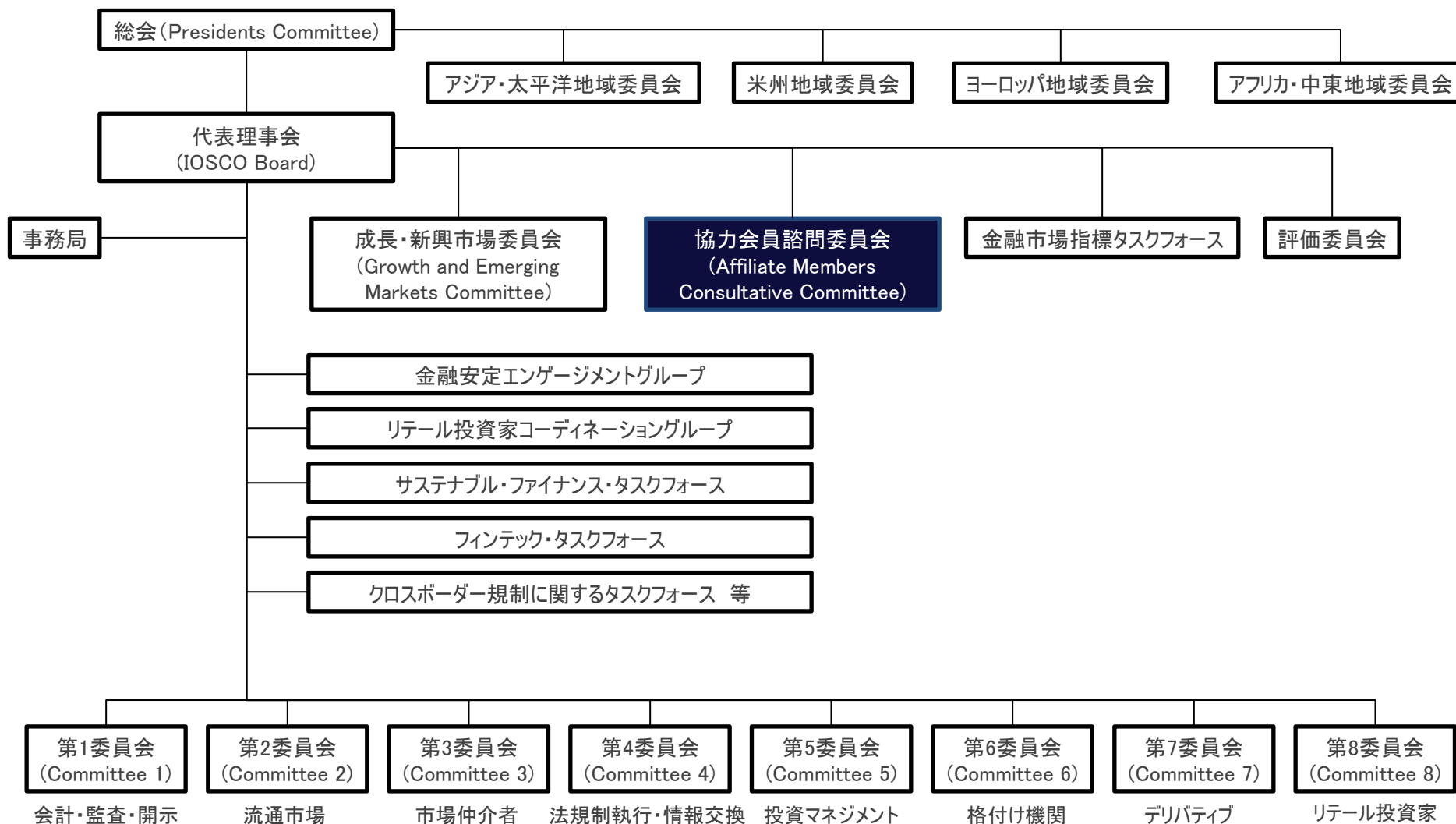
15:00	開会の辞
15:05	IOSCO理事会からの報告
16:15	テクノロジーと金融市場規制
17:25	次回の会合について

（注）IOSCO協力会員が参加できる会合のプログラムのみ掲載

(参考) IOSCO/AMCCの組織・概要①

会議名	証券監督者国際機構／協力会員諮問委員会 (IOSCO : International Organization of Securities Commissions) (AMCC : Affiliate Members Consultative Committee)
IOSCOの設立目的	1. 投資家を保護し、公正かつ効率的で透明性の高い市場を維持し、システムリスクに対処することを目的として、国際的に認識され、一貫した規制・監督・執行に関する基準の適切な遵守を確保し促進するために協力すること 2. 公正行為に対する法執行や、市場・市場仲介者への監督に関する強化された情報交換・協力を通じて、投資家保護を強化し、証券市場の公正性に対する投資家の信頼を高めること 3. 市場の発展への支援、市場インフラストラクチャーの強化、適切な規制の実施のために、国際的に、また地域内で、各々の経験に関する情報を交換すること
IOSCOの設立時期	1974年に設立された米州証券監督者協会を母体とし、1980年代以降に欧州・アジア諸国の機関が加盟。1986年のパリ総会において、現在の証券監督者国際機構という名称に改められた。
IOSCOのメンバー	IOSCOのメンバーには、正会員（Ordinary Member）、準会員（Associate Member）、協力会員（Affiliate Member）の区分がある。我が国からは、金融庁、経済産業省及び農林水産省が正会員として、証券取引等監視委員会が準会員として、日本証券業協会及び日本取引所グループ/日本取引所自主規制法人が協力会員として、それぞれ加盟。
AMCCの概要と活動	本協会が加入する<u>協力会員諮問委員会（AMCC）</u>は、1989年に事務局長のイニシアティブにより設置された自主規制機関諮問員会(SROCC)が、協力会員の属性の多様化に伴い、2013年9月に名称変更されたもの。現在、<u>約60の機関が加入している</u>。 AMCCの主な機能としては、協力会員としてIOSCOに参加している自主規制機関の知見及び意見をIOSCOの政策委員会の議論に反映させ、グローバルな規制環境の適正な整備に資することや協力会員間の意見交換等。同委員会の会合は通常年2回（IOSCO総会時の会合及び中間会合）開催。 議長は、カナダ投資規制機構（CIRO）のアンドリュー・クレーグラーCEO（2024年5月就任）。なお、2006～2012年の間、本協会が旧SROCCの議長を務めた。

(参考) IOSCO/AMCCの組織・概要②



(参考) IOSCO総会等の開催実績・予定

	IOSCO総会	AMCC中間会合及び研修セミナー	
2006年	香港（6月）	スペイン マドリッド（11月）	中間会合のみ
2007年	インド ムンバイ（4月）	東京（11月）	中間会合のみ
中略			
2014年	ブラジル リオデジャネイロ（9月）	東京（4月）	第7回研修セミナー
2015年	英国 ロンドン（6月）	スイス チューリッヒ（10月）	第8回研修セミナー
2016年	ペルー リマ（5月）	米国 シカゴ（9月）	第9回研修セミナー
2017年	ジャマイカ モンテゴベイ（5月）	インド ムンバイ（9月）	第10回研修セミナー
2018年	ハンガリー ブタペスト（5月）	英国 ロンドン（10月）	第11回研修セミナー
2019年	オーストラリア シドニー（5月）	スペイン マドリッド（12月）	第12回研修セミナー
2020年	ウェブ開催（11月）	ウェブ開催（11月）	第13回研修セミナー
2021年	ウェブ開催（11月）	ウェブ開催（6月）	中間会合のみ
2022年	モロッコ マラケシュ（10月）	ウェブ開催（7月）	中間会合のみ
2023年	タイ バンコク（6月）	ウェブ開催（3月）	中間会合のみ
2024年	ギリシャ アテネ（5月）	スペイン マドリッド（2月）	第14回研修セミナー
		カナダ トロント（11月）	第15回研修セミナー
2025年	カタール ドーハ（5月）	英国 ロンドン（10月）	第16回研修セミナー
2026年	エジプト シャルムエルシェイク（5月）	未定	未定